

広報

まほく

2020
令和2年
No.174

4

April



ひな祭り 紀伊長島幼稚園

令和2年度施政方針

はじめに

私は紀北町長に就任以来、「すべては住民目線で、すべては住民とともに」の基本姿勢のもと、議員の皆さま、町民の皆さまのご理解とご協力をいただきながら協働のまちづくりに取り組んでまいりました。今後の町政経営についても、現場を重視し、町の課題に真摯に向き合い、時代の変化や町民の要請に的確かつ柔軟に対応できる広い視野を持ち、紀北町第2次総合計画に掲げた将来像である「みんなが元気！紀北町～豊かな自然、にぎわいと笑顔があふれるまち～」の実現に向け、前期基本計画の4つの重点プロジェクトを中心に全力を挙げてまちづくりに取り組んでまいります。

特に、「健康は笑顔をつくり、幸福の基礎となる」のもと、町民の皆さまが健康に意識を向けていただく施策をこれまで以上に積極的かつ効果的に推進し、生涯現役で元気に暮らせるまちづくりを進めてまいります。紀北町の新しい交通システム「おでかけ応援サービスえがお」の試験運行を実証し、本町にあった新交通システムの本格運行を目指し、安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

今年は、紀北町が誕生して15年を迎えます。私が、町民の皆さまのご支援をいただき町長に就任して10年が経過いたしました。私は、孔子先生が人生でいちばんたいせつな言葉とおっしゃった「恕（じょ）」を「座右の銘」としております。元京都大学総長の、故平沢興氏は、「恕」について、「思いやりがある人は、他人の立場に立つことができる人だ。他人の痛みや、苦しみを自分のことのように感じる人。」人生でいちばんたいせつな「思いやりの心」を育てたいと述べています。

町長就任10年目を機に、初心に帰り、常に「思いやりの心」を持ち、行政のかじ取り役を務めさせていただきたいと考えております。新しい令和の時代に合わせた変化を重ね、先進的に取り組む努力を怠ることなく、自覚と責任をもって町政の推進に取り組んでまいります。

町を取り巻く情勢

◆災害状況

今年度は、阪神・淡路大震災から25年の節目の年です。平成の時代は、このほかにも東日本大震災や東海豪雨、紀伊半島大水害など、大規模な自然災害が頻発し「災害の時代」ともいわれています。



出初式

紀北町は、地理的、気象的に自然災害に対して極めて厳しい条件下にあり、これまで幾度も甚大な被害を受けております。

これらを教訓として、地震・津波・台風・豪雨などの自然災害に対する防災力・減災力をさらに強化し、日頃の訓練や準備を怠ることなく、常に災害を意識

し、町民の皆さまと力を合わせ、安全で安心なまちづくりに向け力を傾注し、災害発生後の迅速な復旧・復興に向けた体制整備を図ってまいります。

◆オリンピック・国民体育大会など

今年度は、4年に1度のオリンピック、パラリンピック競技大会が東京を中心に開催される予定です。オリンピックのシンボルである聖火は、3月26日に福島県を出発し全国を回ります。4月9日には、昨年世界遺産登録15周年を迎えた熊野古道の「馬越峠道」で聖火リレーが行われます。

私も、1964年（昭和39年）の大会から半世紀ぶりに開催されるオリンピック夏季大会の感動を心待ちにしている一人です。日本全体で力を合わせ、最高のオリンピック、パラリンピック競技大会となることを願っております。

第76回国民体育大会「三重とこわか国体」、第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」まで、1年6カ月あまりとなりました。「三重とこわか

国体」では、正式競技のソフトボール少年女子、公開競技のグランド・ゴルフが、「三重と

こわか大会」では、ソフトボールが本町で開催されます。

町民総参加により、おもてなしの心を持って全国から訪れる方々を温かく迎え入れ、深い感動と大きな満足感を共有できる大会にしたいと考えています。

「三重とこわか国体・三重とこわか大会紀北町実行委員会」を中心として皆さまのお力を得ながら準備を進め大会運営に万全を期してまいります。

大会を機に、これまで以上に町民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して町民の健康増進と体力向上を図り、人と人との交流や絆づくりを図ってまいります。

町を取り巻く経済情勢

◆令和2年度の位置付け

「紀北町第2次総合計画前期基本計画」は、昨年度に中間年を迎え、本計画の実効性を確保するため、副町長を委員長とし、外部委員20名による評価・検証委員会を設置して、各施策の進

捗状況や達成度などを検証いただきました。

「計画」、「実施」、「点検・評価」、「改善に向けた行動」を繰り返しながら、将来像である「みんなが元気！紀北町」を目指し、前期基本計画に掲げた4つの重点プロジェクトを中心として、積極的かつ計画的に主要施策の推進を図ってまいります。

予算編成についての考え方と予算規模

◆紀北町の予算の概要

令和2年度一般会計当初予算につきましては、総額106億9,121万円、令和元年度当初予算と比較して5.9%、6億7,054万3千円の減となりましたが、4年続けての100億円を超える大型予算となっております。

歳入の主なものにつきましては、地方交付税が39億5,400万円で全体の37.0%を占め、次いで町債16億7,270万円、町税13億1,088万8千円の順となっております。

は、民生費が27億4,447万円円で全体の25.7%を占め、次いで消防費が14億9,841万7千円、総務費13億9,714万円の順となっております。

生活に密着した必要不可欠な事業に加え、人口減少・少子高齢化への対応事業、安全・安心な暮らしの確保事業、農林水産業など地場産業の活性化事業など、地域を元気にするために必要な施策を積極的に進める予算となっております。

厳しい財政状況ではありますが、国・県の補助金、交付金をはじめ合併特例事業債、過疎対策事業債など有利な起債の活用を図るなど、財政の健全性の確保に努め、厳しい財政状況に対応してまいります。

特別会計では、国民健康保険事業会計が22億648万2千円、介護サービス事業特別会計が1億7,716万4千円、後期高齢者医療特別会計が6億610万5千円、水道事業会計では、支出ベースで7億1,677万5千円となっております。

一般会計を含めた全会計の予算額は、143億9,773万6千円となっております。

紀北町第2次総合計画・前期基本計画の取り組み

◆「安全・安心」のまちプロジェクトの取り組み

この地域で最も危惧されている南海トラフ地震が今後30年以内に70%から80%の高い確率で発生すると予測されております。

引き続き地震・津波対策を重点的に進めるとともに、台風や豪雨などの自然災害の危機にも対応した日頃の訓練の実施や被災時の復旧・復興時の対策に向けた体制整備を進めてまいります。

消火活動や救急・救助活動の拠点となる海山・紀伊長島消防署が津波浸水域外に移転したことで、安全な場所から迅速な活動が行えることとなり、これまで以上に町民の皆さまの安全・安心の確保を図ってまいります。

矢口浦地区の海岸保全施設の整備や県営事業での原池の耐震改修、トンネル・橋の長寿命化を引き続き実施するとともに、防災行政無線のデジタル化と戸別受信機の全戸配布を進めてまいります。

◆「健康増進・生涯現役」のまちプロジェクトの取り組み

生活習慣病予防や健康寿命の延伸を図るためには、住民自らの健康状態を自覚することが重要であります。

「みんなでいこか！総合けんしん」、「がん検診」、「特定健診」などの各種保健事業の積極的な啓発や受診者の負担軽減と利便性の向上を図ることにより、各種検診の受診を積極的に促してまいります。

健康の保持や体力の維持を図る「ちよい減らし+10チャレンジ」や「さほく活身体操」、「健康ウォーキング」など健康づくり活動を住民・事業者と共に一体となって進めてまいります。

加齢とともに心身の活力が低下し、生活機能障害や要介護状態となるフレイルの対策とし

て、健康診査や検診、健康教育・相談などの保健事業の充実を図ってまいります。健康増進施設「紀北健康センター」がオープン3年目となります。健康増進

に関する正しい知識の普及や情報収集・整理・分析を図り、各種健康増進プログラムの充実やスポーツ活動への支援を行います。運動を生活の一部として習慣化することの重要性と関心や理解を深める事業などを展開し、生活習慣病予防や健康寿命の延伸を図ってまいります。

◆「にぎわい・交流」のまちプロジェクトの取り組み

紀北町の伝統的基幹産業である農林水産業の生産基盤の安定を図るため、農業については、農地の集積や基盤整備、高収益作物への転換、獣害対策などを推進し、意欲ある農業者を支援するなど農業振興に努めてまいります。

林業については、「日本農業遺産」に認定された尾鷲ヒノキ林業の高い評価と、昨年12月にブランド力の向上に向け「尾鷲ヒノキ」のマークが商標登録されたことを生かし、尾鷲ヒノキ

材の新たな活用や販路拡大を図るほか、FSC森林認証の拡大などの取り組みを推進し、林業の振興に努めてまいります。



尾鷲ヒノキ商標

水産業については、漁業者の所得向上のための「浜の活力再生プラン」に基づき、伊勢エビ増殖のためのつきいそ事業や、沿岸域の良好な環境を確保するための水産多面的機能発揮事業など沿岸漁場の整備に努めるほか、三重外漁業協同組合と連携し、魚市場の衛生化や共同利用施設の整備を引き続き支援するなど、水産業の振興に努めてまいります。

熊野古道については、世界遺産登録20周年に向けて一層、観光・交流活動の推進に努めるとともに、熊野古道の歴史・文化などの価値を再認識し、熊野古道の価値を次世代へ継承するためにウォークなど、各種イベン

トの開催を支援いたします。「きほく七夕物語」、「きほく燈籠祭」、「三重紀北SEATO SUMMIT」の開催、各地域で催されている「市」や「イベント」などへの支援を引き続き行うとともに、農林水産業と連携した体験型観光、スポーツ合宿・スポーツ大会の誘致を積極的に進めスポーツ交流の充実を図り、他地域の方々との交流の拡大、メディアなどを通じた町のPR、農林水産物の消費拡大などを進めてまいります。

都市部などからの移住希望者に対し、空き家バンクや体験施設などの移住支援を充実するとともに、都市部におけるPR活動を充実し、移住の促進を図ってまいります。

◆「子育て・教育」のまちプロジェクトの取り組み

子どもを安心して産み育てることができるよう、子育てに関わる経済的負担の軽減など子育て世帯への支援を引き続き行うとともに、3カ所で子育て支援センターを開設しているほか、子育てに不安を持つ親が気軽に相談できる支援体制、子育て世

帯への情報提供、放課後児童対策、ひとり親家庭・障がい児を持つ家庭などへの支援などを図り、子どもの健やかな発達を支援します。

子ども医療費の助成、保護者から実費徴収する保育所の副食費を無料とし、0歳から2歳児までの保護者が負担する保育料につきましては、国の基準より約4割程度低く設定し、子育て世代の負担軽減を図っており、多子軽減も国の基準より充実をさせております。

幼稚園における保育料および給食費の無料化、小学校入学対象者への学用品の支給、小・中学校における第3子以降の給食費の無料化、放課後児童クラブ利用者支援の充実を図るなど、子育て世帯への経済的負担の軽減を引き続き進めてまいります。変化の激しい社会を心豊かに、たくましく生き抜いていく

基盤となる力を育成するとともに、平和で民主的な国家および社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な住民の育成を推進することを目的とした「紀北町教育大綱」の考え方に沿った事業を引き続き実施

してまいります。

特に、グローバル化への対応として「英語教育の充実」を図るため、引き続きALIT（外国語指導助手）を4人体制とし、英語教材の整備や教員の研修活動の充実を図るとともに、英語検定の受験に対する支援など引き続き行ってまいります。

幼稚園、小・中学校の施設設備の充実を図るとともに、郷土学習・農林水産業と連携した体験学習の充実、両地区の学校給食センターより、地元食材を生かした給食の提供、スポーツや運動を通じた健全育成を図ってまいります。

地方創生への取り組み

総合計画との連携をとりつつ、「紀北町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標

- 「元気な地域づくり」
 - 「住みよくなる地域づくり」
 - 「産み育てたくなる地域づくり」
 - 「ずっと暮らせる地域づくり」
- の実現に向け、取り組みを進めてまいります。

令和2年度の主要施策

◆ずっと暮らせる安全・快適なまち

南海トラフ地震は、今後30年以内の発生確率は70%～80%であり、地震により5m以上の津波が到達する確率が26%以上と高い確率で到達すると想定されていることから、防災・減災対策はますます重要な施策となっており引き続き重点的に進めてまいります。

東日本大震災以降、自助、共助、公助の連携のもと、自主防災会からの緊急の要望を中心に、できるものから積極的に事業を実施してきました。

今後、自主防災会や自治会からの要望については、適宜適切に対応することとしており、引き続き、津波避難路や避難誘導灯の整備などを進めてまいります。共助の要となる自主防災会活動の一層の活性化を図るため、自主防災会活動支援補助金を継続するとともに、消防団の装備充実などを進め、地域防災力の強化を図ってまいります。本町の防災アドバイザーであ

る三重大学の川口淳准教授をはじめとする、産学官連携による地域防災支援事業に取り組み、自主防災会などと連携のうえ地域の特性を踏まえた避難行動やさまざまな被害を想定した防災訓練を実施するとともに、防災講演会、研修会などの開催、児童・生徒へのタウンウォッチングなどを通じた防災教育を推進し、防災意識の一層の高揚を図ってまいります。引き続き食料などの備蓄品や停電時の電源確保のため発電機の整備を図ってまいります。

台風や大雨などの自然災害や火災、救急業務への対策ですが、三重紀北消防組合や消防団との連携強化や、被害軽減のための早期避難対策、紀北町防災ナビや防災行政無線のデジタル化に対応した戸別受信機の全戸配布による情報伝達手段の充実、主要河川への監視カメラの設置など、雨水排水対策や水防対策などへの取り組みを推進してまいります。

海岸保全施設整備事業では、矢口浦漁港海岸について、農山漁村地域整備交付金の活用に加え、町単独事業を引き続き実施

し、事業の早期完成に努めてまいります。防災重点ため池については、原池地区の県営ため池等整備事業に引き続き取り組み、防災・減災対策の強化を図ってまいります。

山地災害対策では、県と連携し治山事業の円滑な実施を図るとともに、鍛冶屋又官行造林地の深層崩壊地については、引き続き土砂や流木の流出対策の検討を、国、県、町の3者協議により進めてまいります。人家などへの倒木による被害を予防するため、人家裏危険木伐採事業への補助や流木による河川下流域、海域への被害の軽減を図るため、河川周辺立枯木整備事業などを引き続き実施してまいります。

町内の水害や土砂災害を未然に防止するため関係機関と連携のもと、河川改修や河口閉塞防止、急傾斜地の崩壊防止など、治山・治水対策を推進してまいります。

土石流対策では、県砂防事業として「赤羽・猪ノ谷」の砂防工事が引き続き予定されるとともに、「島勝浦・谷地東谷」および「馬瀬・猿谷」の工事着手

が予定されています。砂防堤防の埋塞土砂撤去が、大野地、三戸および片上地区で引き続き予定されています。

急傾斜地崩壊対策では、県事業として「出垣内地区（山居3地区）」および「西町地区」におけるのり面対策工事が引き続き予定されています。

治水対策では、県河川事業として「銚子川」、「赤羽川」の堆積土砂の撤去と「赤羽川・山居地区」の堤防補強工事が引き続き予定されています。町河川事業として、大船川および片上川の堆積土砂の撤去を実施してまいります。

港湾・海岸整備では、県事業として長島港では、「江ノ浦大橋」耐震補強工事および「中ノ島地区」高潮対策工事が引き続き予定されています。引本港では、「船津川・銚子川」の河口閉塞対策として河口堆積土砂撤去が、「高浜海岸」の浸食対策として河口と銚子川の撤去土砂を活用した養浜工事が引き続き予定されています。

交通安全施設整備事業では、町事業として「便ノ山12号線」および「下河内大野内線」の防

護柵設置工をはじめ、町内一円の交通安全施設対策事業を実施してまいります。

地籍調査事業では、円滑な土地取引や災害時の早期復旧などに寄与するため、国土調査法に基づき、「相賀地区」および「鯨地区」内の土地の筆界、面積、地目の確定を推進してまいります。

道路・交通網においては、産業活動や日常生活を支えるとともに、人々の交流を促進する重要な基盤で、本町の道路網は、紀勢自動車道、国道42号、国道260号、国道422号の基盤道路のほか、県道10路線、町道1,013路線がそれぞれ機能を持ち、産業活動や住民生活を支える基盤となっています。今後も住民生活の利便性・安全性の向上など、幹線道路の整備を促進してまいります。

県の道路事業では、「国道422号・志子地区」、「長島港古里線・中ノ島地区」、「矢口浦上里線・矢口地区」および「海山尾鷲港線・小山浦地区」の道路改良工事と「須賀利港相賀停車場線・相賀橋」の橋梁耐震事業が引き続き予定されるとも

に、「国道422号・大原地区」の道路拡幅事業への着手が予定されています。

町の道路事業では、「汐見17号線」ほか9路線の道路改良工事および「戸ノ須岩本線」ほか5路線の道路舗装工事を実施してまいります。橋梁長寿命化計画に基づき、防災・安全交付金を活用した「大台2号橋」ほか5橋の長寿命化修繕工事および「前垣内中州2号橋」の耐震修繕工事を実施するとともに、防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策交付金を活用した「汐ノ津呂橋」の耐震修繕工事を引き続き実施してまいります。トンネル長寿命化計画に基づき、防災・安全交付金を活用した「白浦トンネル」と「長島隧道」の修繕工事を実施してまいります。

町営住宅管理事業では、公営住宅等長寿命化計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用した「あけぼの団地B棟」および「山居団地」の修繕工事を実施するとともに、老朽化した住宅2棟の取り壊しをしております。全国的にも問題となっている適正に管理されていない空

き家などについて、適正に管理されるよう指導などを行うとともに、生活環境の保全を図るため、紀北町空家等対策計画により対策に取り組んでまいります。水道事業では、水道事業基本計画および管路更新計画に基づき、老朽管の耐震管への敷設替えや浄水場の設備更新などの取り組みを計画的・効率的に推進することにより、健全な事業運営に努めてまいります。

良好な水源の保持・確保のため、水質検査を引き続き実施し、安全・安心な水の安定供給を行うてまいります。住民の皆さまに水道事業に対する理解を深めていただくための啓発活動にも取り組んでまいります。



環境宣言

環境衛生対策では、「自然と

共生の町」宣言の具現化を目指し制定した「紀北町生活環境の保全に関する条例」をもつて、自然・環境を守る環境保全施策を進めていくとともに、一般廃棄物の適正な処理を継続してまいります。

廃棄物の安定処理においては、し尿処理場の大規模改修を行ったことにより、現状にあつたし尿の処理体制が確保されました。ごみ固形燃料の長期的な利用先を確保したことで、ごみ固形燃料化施設において廃棄物の安定的な処理を行っております。

今後は、施設として寿命を迎えようとするごみ固形燃料化施設の2施設を代替していくため、次期ごみ処理施設については、東紀州5市町による広域でのごみ処理施設整備を指すことで、経費削減を図り、安定的かつ継続的な処理体制を確保し、生活環境の保全および公衆衛生を向上させていきます。

公共交通については、路線バスの維持存続を図るため、高校生バス定期補助を引き続き行うなど利用促進に取り組んでまいります。公共交通空白地対策と

して廃止代替バスやいこかバスの運行を継続するとともに、新交通システム実証事業を踏まえ本町にふさわしい、新たな交通手段の確立に向けて、積極的に取り組んでまいります。

情報化について政府は、人工知能(AI)やモノのインターネット(IOT)などの情報技術を活用し、経済発展と社会的課題の解決を両立する社会であるソサエティ5.0を目指すべき姿として掲げているため、情報通信技術に明るい町職員などによる検討委員会を立ち上げ「地域情報化計画」を策定して高度情報化の波に迅速に対応できるようにしてまいります。

やさしさで支え合う健康・福祉のまち

少子・高齢化が進行する中、子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化し、子育てに対する不安感や負担感などの問題が年々高まってきております。少子化対策として「安心して子どもを生み、健やかに育むまちづくり」の基本理念のもと、家庭と

地域が子育てする力を高めてい

く環境づくりを推進してまいります。

既設の保育所はもとより、地域における子育て支援策として、引き続き、子育て支援センターや、放課後児童クラブの運営に対する支援を実施してまいります。

放課後児童クラブでは、夏季休暇中のみ、重度障がい児の受け入れ態勢を図るとともに、ひとり親世帯、障がい児を持つ世帯の利用料減免の拡充を実施し、子育て環境の充実を図ってまいります。安心して子どもを産み育てることが出来る地域づくりに向け、保育所運営費、町単独による障がい児保育事業や重度障害児保育士特別加配補助金を引き続き実施してまいります。

町単独の支援として実施してまいります。保育所の副食費および幼稚園の給食費、3人目以降の小・中学校の給食費の無料化を引き続き実施するなど、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ってまいります。

子育てに関するさまざまな悩みや不安、精神的な負担感の軽減、解消を図るため、子育て世

代包括支援センターを中心に母子保健事業を通じた相談支援体制の充実を図ってまいります。

18歳到達後の3月までの入院と15歳到達の3月までの通院に對する子ども医療費の助成につきましましては、引き続き実施してまいります。

義務教育初年度にあたる小学校入学時の新入学用品の現物支給や、平成29年度より段階的に実施してまいりました、小学校および中学校における就学援助費での新入学用品費の入学前支給を引き続き実施し、子育てを応援してまいります。子育て世代が、安心して子どもを産み育てるために必要となる情報を、一元的にお知らせするために構築した「結婚」「妊娠・出産」「子育て」のポータルサイト「きほくファミラボ」の情報更新に努め、より有意義なサイトの運営を図ってまいります。

高齢者福祉施策では、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できる体制を構築し、高齢者が地域で

安心して暮らせる地域づくりを推進してまいります。

少子高齢化が進む紀北町で支え合い、安心して暮らせるまちづくり、この実現のために、高齢者を地域全体で支える体制づくりを目指すことを目的とし、旧引本小学校本校舎を改修し、紀北町社会福祉協議会海山支所、海山ブランチャなどの事務所機能を移転します。高齢者の見守り対策として、緊急通報装置の設置、配食サービス、救急医療情報キットの配布・更新などを継続するとともに、「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」により、民生委員や地域包括支援センターなどの連携による「地域での見守り活動」や、健康保持への活動の推進により、高齢者の地域での生活と安全対策をより図ってまいります。

町立老人ホーム赤羽寮では、

利用者が安全・安心に快適に暮らせることはもちろんのこと、利用者・職員全員が笑顔の絶えることのない安らぎとぬくもりのある「住まい」としての施設づくりを進めることを目標に取り組んでいます。利用者や家族

に選ばれる施設になるためには、利用者本位の環境や満足のできる施設ケアが整っていることと、かつ低料金であることを目指す必要があります。

今後ともそれらを解決するため、自分らしく安全・安心な暮らしができるよう、継続的に施設の改修を行っており、今年度は、廊下などの改修を実施することとしています。

障がい者福祉施策では、地域における障がい者支援策として、引き続き、障がい者総合支援センターや障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの介護・訓練等給付事業などをはじめ、じん臓機能障害による人工透析などの通院に要する経済的負担を軽減するための助成を引き続き実施してまいります。

町民の皆さまの健康づくり事業については、生活習慣病などの予防のため、「ちょい減らしプラス10」を合言葉に、食生活の改善と運動習慣の定着を目指し

て、町民の皆さまが健康づくりに取り組んでもらえるよう引き続き努めてまいります。すでに平成28年度から、食事・運動の両面において、町民が個々に応

じた目標を立て、実践できたかどうかを記録しながら定着を図る「ちょい減らし+10チャレンジ」事業を実施しておりますが、今後、さらに幅広い年齢層で、できるだけ多くの方々に継続して参加してもらえよう、より一層推進してまいります。



きほく活活体操

る魅力向上につなげてまいります。健康な生活習慣の重要性に對し関心と理解を深めるため、個人の体力の現状を知る「町民体力測定」や、紀北健康スポーツクラブの講座の充実などにより、健康意識の向上や健康づくり・体力の維持増進に努めてまいります。

各種がん検診事業では、国が推奨しているがん検診は、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん（マンモグラフィ）、子宮頸がん（検診と定められており、これら全てを無料にすることで、受診率の向上を図り、がんの早期発見・早期治療に努めてまいります。

受診者の利便性を図るために、特定健康診査と各種がん検診などの全ての健診を1日で受診できる「みんなでいこか！総合けんしん」についても、引き続き実施してまいります。

尾鷲総合病院は、休日・夜間における入院治療を要するような重症救急患者に對する二次救急医療体制として、病院群輪番制病院の役割を担っており、この地域になくはならない病院であることから、2年間の財政

支援を実施いたします。

国民健康保険事業については、県域での広域で進めているものの、厳しい事業運営を余儀なくされている状況にありま

す。医療費の適正化に向け、医師会などの連携のもと疾病重症化学予防策を講じるなど、保健事業を積極的に展開してまいります。

魅力と活力ある産業のまち

農業振興施策では、安定的な利水を確保するため、一般土地改良事業などにより、農業用水路や揚水機場などの農業生産基盤について、適切な維持管理に努めてまいります。

県営事業では、農業生産基盤や生活環境の整備を図るため、県営中山間地域総合整備事業の紀北2期地区の事業に着手するほか、中里地区においては、農地中間管理機構関連農地整備事業に着手し、農業基盤整備を進めてまいります。町内6カ所のたん水防除の排水機場については、土地改良施設維持管理適正

化事業、農地防災事業などにより適切な維持管理に努めてまいります。

人・農地プラン事業による農業者への支援をはじめ、農地中間管理機構を活用した農地の借り手と貸し手に対する支援、日本型直接支払制度による農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対する支援を引き続き行ってまいります。

有害鳥獣対策では、引き続き、猟友会と連携した有害鳥獣の適切な駆除や、農村見守り支援員による迅速な対応とともに、獣害防止用の電気柵などの資材費用への助成や鳥獣害防止総合対策事業などの活用により、獣害被害の軽減を図り営農意欲減退の抑止に努めてまいります。

海岸環境整備事業では、和具の浜海水浴場施設の指定管理者の海水浴場の利用に加え、施設の新たな利用などによる魅力向上を図り、地域の活性化につなげてまいります。平成29年の台風21号により、り面が崩壊し、通行止めとなっています。黒浜海水浴場への進入路について、崩

落箇所上部は県の治山工事にて令和元年度に整備し、引き続き今年度、本町が下部の整備を実施してまいります。

林業振興施策では、森林経営管理法に基づく新たな森林管理システムに対応するため、県森林組合などと連携し、適切な森林整備の促進を図るため準備作業を進めるとともに、森林所有者への意向調査に取り組んでまいります。「森林組合おわせ」などの林業関係団体と連携し、国、県の補助制度を活用した施業の集約化の促進、路網整備、高性能林業機械の導入を促すなど、森林資源の循環利用の促進を図ってまいります。

町有林造成事業では、経営計画に基づく効率的な町有林経営に努めるとともに、森林組合おわせを中心とした「民間委託方式」により、計画的な事業量を確保することで、林業技術の伝承や雇用の創出を図るとともに、町有林のFSCグループ認証の取得を踏まえ、適切な育林管理に努めてまいります。

町管理林道や作業道においては、林道・治山関係事業での維持修繕に努めるほか、林道向井山線の橋の維持補修事業に着手してまいります。森林組合おわせが管理する林道については、林道安全対策管理助成事業により、維持補修への支援を引き続き実施してまいります。

尾鷲ヒノキ材について、その販路拡大に向け、関係団体と連携を図り、木材関連産業の活性化に努めるとともに、地域産材の利用を促進し、木材関連事業を支援するため、町内の製材所から出荷された地域産材を使用した住宅建築に対する補助を引き続き行ってまいります。森林環境譲与税を活用し、森林境界の明確化などを進めてまいります。

水産業振興施策では、三重外湾漁業協同組合と連携し「浜の活力再生プラン」に基づく種苗放流事業や、水産資源の増殖を図るため漁場整備を白浦地区において実施するほか、漁業近代化資金利子補給による漁業経営の改善、外国人漁業研修生受入対策など、多方面から地域水産業を支援してまいります。共同

利用施設については、長島港魚市場の衛生化などに対応するため、海水ポンプなどの修繕や水揚げ用水槽の整備、漁業活動の安全を確保する三浦漁港の照明灯修繕、引本湾の養殖共同利用施設のアンカー修繕など6カ所の修繕への支援を実施してまいります。

昨年度末に流失した熊野灘の大型浮漁礁につきましては、今年度末までに整備を終える予定で事業が進められているほか、老朽化により更新が必要な別の1基についても、早期の実施を県に対し要望してまいります。沿岸海域での磯焼け対策として、ふるさと納税を財源とした藻場再生事業を引き続き実施し、町内の藻場の再生に取り組んでまいります。県営海女漁業



植樹

等環境基盤整備事業により、紀伊長島地区、諏訪の浜沖合において藻場造成に引き続き取り組み、アワビや伊勢エビの生息場の確保、稚魚の成育場の保全に努めてまいります。

これらの取り組みと連動させ、水産多面的機能発揮対策事業により、漁業者自らが行う漁場の食害生物の駆除や漁場環境の保全活動を支援し、効率的に漁場の再生を進めるほか、内水面漁業については、銚子川環境保全会が取り組む河川環境の保全活動を支援してまいります。

三重外湾漁業協同組合、紀伊長島水産加工業協同組合をはじめ、水産関連団体が参画する長島地区産地協議会と連携し、長島港魚市場の衛生化に取り組みとともに、漁獲物の地域内消費を増大させるため、魚食普及や地産地消の取り組みを推進し、地域経済の活性化を図ってまいります。漁港管理事業では、町内5つの漁港施設の維持管理に引き続き努めるとともに、高潮対策として、海野浦漁港の宮前川ひ門の整備を進めてまいります。

商工業の振興では、町内の小

規模事業者への支援として「みえ熊野古道商工会」が実施する事業に対する助成や、小規模事業者の経営の安定と改善のため実施している小規模事業者経営改善資金に対する利子補給や創業支援制度としての保証料補助を引き続き実施してまいります。

中小企業の労働生産性の向上を図るため、先端設備等導入計画の認定を受けた中小企業の設備投資を引き続き支援します。

地域の総合的な活性化を推進する取り組みとして、住宅リフォームを促進することにより、住環境を向上するとともに地域経済を活性化するため、住宅リフォームに対する補助を引き続き行つてまいります。

物産振興事業では、地域産品の高付加価値化を進めるために、地域ブランド開発の支援活動を推進し、大型ショッピングモールなどでの物産PRにも引き続き努めてまいります。

ふるさと納税については、地域の活性化につながることから、リピーターの獲得や返礼品のブラッシュアップ、コラボレーションなどについて、講師を

招いて事業者勉強会を開催。寄付額のコースを増やすなど、多くの皆さまからご寄付いただけるよう努めてまいります。

ご寄付いただいたたいせつな寄付金は、防災や地域活性化などの対策に有効活用させていただき、引き続き適正な制度の運用を行い、ふるさと納税を推進してまいります。

「始神テラス」への「観光案内人」の設置を継続し、まちなかへの誘客を進めるとともに、道の駅と連携し、入込客の増加を目指すほか、「年末・きいながしま港市」をはじめ、「海・山こだわり市」などの物産販売イベントへの支援を引き続き行い、町内産品の消費拡大につなげてまいります。

観光振興施策では、紀北町を目的地としてももらえるよう、町のさらなる魅力アップを進めてまいります。

古里温泉の改修整備の検討を進めるとともに、常に新しい情報の発信や話題性のあるイベントなどにより紀北町をPRしていくため、テレビ・ラジオ番組の制作、観光協会への観光振興PR活動事業などに対する支援

を引き続き実施してまいります。

これまで、4回開催しました環境スポーツイベント「三重紀北SEA TO SUMMIT」

には、県内外から多くの方に訪れていただき、昨年は、過去最多の参加者を記録いたしました。

第5回「三重紀北SEA TO SUMMIT」の開催や、「奇跡の清流 銚子川」をはじめとする魅力的な「海」「山」「川」の自然環境保全をコンセプトとした自然体験型環境学習、体験型観光をキーワードとして、情報発信に努めてまいります。



三重紀北SEA TO SUMMIT

「三重県ジャパンエコトラ

ク推進協議会」と今年度策定する「(仮称)三重県自転車活用推進計画」の活動を連携させ、県・関係市町全体で自然体験の促進により地域全体の活性化を推進してまいります。

引き続き地域おこし協力隊の募集を行い、外部からの視点を取り入れた観光振興などにより地域の活性化に取り組んでまいります。

心豊かに夢を育む教育・文化のまち

幼児教育では、自然とのふれあいや友だちとの関わりなど、保育園・幼稚園での集団生活の中で自発的な活動を促し、発達に必要な豊かな経験を通じて

「生きる力」を育むとともに、家庭との連携を深め、基本的な生活習慣と協調性を育む教育を推進してまいります。昨年10月より幼児教育の無償化が実施され、引き続き幼稚園教育や一時預かり保育などニーズの多様化に対応し、たくましい心と体を育む幼児教育の充実を図るとともに、幼児期に学んだ経験が義務教育およびその後の教育へと

円滑につながるよう、保育園、幼稚園、小学校との連携強化に努めてまいります。

学校教育では、「生きる力」の育成のため、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を重視した教育を推進するとともに、支援を必要とする子どもに対しては、能力や可能性を最大限に伸ばすことができる特別支援教育を推進してまいります。

地域に開かれた信頼される学校づくりを推進するとともに、学校施設の整備を行い、安全・安心な学校づくりに努めてまいります。これまでも小・中学校において、コンピュータ教室の整備などを進めてまいりましたが、新たに高速大容量に向けたネットワーク整備を進め、政府より打ち出された1人1台端末整備および高速大容量ネットワーク環境整備に向けたGIGA(ギガ)スクール構想に向け検討を行うことにより、情報化社会の進展に伴う教育分野でのICT教育を推進し、次世代を担う子どもたちの育成に取り組んでまいります。引き続き

き、小学校入学時の新入学用品の現物支給や、要支援者対策として、平成29年度より段階的に実施しています。小・中学校における就学援助費での新入学用品費の入学前支給を行い、子育てを応援してまいります。

学力の向上、豊かな人間性の育成、健康体力の増進と個性や創造性を伸ばすことを基本とし、支援の必要な児童・生徒へ介助教員などの配置を引き続き実施してまいります。「紀北町子どものいじめの防止等に関する条例」の理念に基づき、町および学校などが連携し、子どもが安心して生活し、学ぶことができる環境づくりを進めるとともに、全ての小・中学校において学級満足度調査を実施し、いじめの早期発見に努めてまいります。

子ども一人一人の学校生活における満足感や安心感、学習意欲など、児童生徒の理解を深めることにより、個に応じた指導を進めます。

小学校では、学習指導要領改訂に伴い、5・6年生で英語科が創設され、3・4年生でも外国語活動がスタートすることか

ら、ALT(外国語指導助手)4名体制を継続するとともに、英語教材の整備などを実施してまいります。



ALT(外国語指導助手)

今年度もプログラミング教育に対する教材の整備など、引き続き新学習指導要領に向けた取り組みを実施するとともに、小学校における教科書改訂に伴う指導書の整備などを実施してまいります。

海野小学校が令和3年3月31日をもって閉校となることから、スクールバスの整備、閉校式典などを実施するとともに、統合先であります西小学校との交流を進めてまいります。総合教育会議、教育委員会との連携を密にしながら、学力・体力の向上や学校の適正規模・適正配

置などの諸課題に対応してまいります。

コミュニティースクールの推進、学校支援地域本部事業、地域未来塾事業を実施することにより、幅広い分野の方々の参画を得ながら学習支援、学校環境整備、学習教育活動などの活動を行い、学校、家庭、地域住民などの相互の連携協力の強化のもと、町全体で子どもを育ていく仕組みづくりを進めてまいります。



読み聞かせ

学校給食につきましては、津波浸水区域外であります赤羽地区に本年4月の稼働を目指し、紀北町紀伊長島学校給食センタ

の整備を進めており、整備が完了すれば、本町の学校給食施設は、床が水に濡れないドライ方式となり、現在の学校給食衛生管理基準に適合した施設となります。今後は、より安全で安心なおいしい学校給食の提供を進めてまいります。

生涯学習については、自己研鑽や余暇充実のため、生涯学習講座や公民館講座、パソコン講座などの学習機会をさらに充実させていきます。

公民館の館長や主事の体制を構築し、少子化や高齢化などの社会的課題に対応し各世代の学習ニーズに応えていきます。かねてから施設の老朽化や雨漏りなどが問題となっていた海山図書室を、児童図書室とともに老人福祉センターに機能を移転し、図書室の利用拡大と図書などの充実を推進します。

青少年の育成では、放課後などに小学生に対して文化、自然、体育などのさまざまな体験を提供するいきいき子ども学園を開催するとともに、子ども会やスポーツ少年団の活動を支援してまいります。青少年育成連絡会議などの関係団体と連携し

て、街頭指導やパトロール、あ
いさつ運動などを推進すると
もに、親子共同体験や家庭教育
に関する講演会などを開催して
まいります。

います。スポーツ大会につい
ては、町内のスポーツ団体が開
催する大会の支援や町長杯スポ
ーツ大会をより一層推進してま
いります。

生涯スポーツについては、体
育協会などの関係団体の支援、
権兵衛の故郷走ろう大会や町民
駅伝大会などの開催、スポーツ
体験教室などを合同で開催しス
ポーツ機会を提供するなど、ス
ポーツ普及のさらなる促進に取
り組みます。1人でも多くの子
どもたちに、夢をもつ素晴らし
さを伝える「夢の教室」を中学
生に加え小学生にも開催してい
きます。スポーツ施設の適正な
管理や整備を推進し、全国大会
などに出場する選手の支援、成
績優秀者の表彰、美し国三重市
町対抗駅伝への参加など、競技
スポーツの振興に努めてまいり
ます。スポーツ交流の推進とし
ては、スポーツ合宿の誘致・拡
大のため、スポーツ施設や宿泊
施設の予約などを一元化し、最
適な合宿プランを提供すると
もに、合宿雑誌への広告、合宿
パンフレットやチラシを活用し
て、県内外の高校・大学などの
スポーツ合宿の誘致を進めてま

文化・芸術については、公民
館や生涯学習施設の構造改革に
取り組み、多様な文化活動や芸
術活動が行えるよう文化団体に
対して支援するほか、一流アー
ティストなどによる演奏会、演
芸会を開催することにより、優
れた文化・芸術に触れる機会を
つくります。

熊野古道の保存会や地元企業
と連携し、熊野古道やその周辺
環境の維持・保全に努めると
もに、子ども・若者などの次世
代に守り伝えていくため、小
中学校の熊野古道学習へ語り部
を派遣し、地域の魅力を提供し
てまいります。

さまとの協働により町政の運営
を進める必要があります。

ともに担う参画と協働のまち

今後、財政状況が厳しさを増
すことが想定されており、高度
化、多様化する行政ニーズに対
応し、自立したまちを創造・経
営していくためには、町民の皆

さまとの協働により町政の運営
を進める必要があります。

このことから、その中心的役
割を担う自治会の活動拠点であ
る集会所について、年々維持管
理が厳しくなっていることに鑑
み、引き続き一定の支援を講じ
ます。行政活動の報告や、町民
の皆さまから意見をお聞きしな
がら町政の運営を進めるため、
平成28年度から設置しておりま
す「紀北町まちづくり協議会」
は、令和2年度からは3期目と
なり新たに委員を公募すると
もに、「まちづくり」に際しま
して、いただいたご意見を参考
にさせていただきながら進めて
まいります。

男女共同参画社会の実現に向
け、審議会や各種委員会への女
性の参画を進めることで、女性
の方々からのご意見をいただく
ことに加えまして、各種方面の
皆さまからいただいたご意見、
ご要望などを参考として、紀北
町のさらなる発展に向けた取り
組みを加速してまいります。

幅広い住民の方が、簡便かつ
正確に本人確認や行政機関など
からのサービスを受けることが
できるように、マイナンバーカ

ードの取得しやすい、環境づく
りを進めてまいります。

町民の皆さまに迅速で分かり
やすい情報を提供し、住民と行
政との協働体制の確立を進める
ため、広報紙、行政放送番組、
ホームページ、SNSなどを
活用し、さらなる行政情報の発
信に努め、町民の皆さまと協働
のまちづくりを進めてまいりま
す。

紀北町では、今後も人口減少
傾向が続くことが想定される
中、地域の活性化をより一層進
めていく必要があり、空き家
バンクの充実を図るとともに、
SNSなどによる情報発信、
都市部で行われる移住フェアへ
の参加、移住体験施設を備える
などの移住・定住対策のほか、
都市部で活躍している町出身者
とのネットワークを構築し、関
係人口の増加と町の活性化につ
なげてまいります。

結びに

以上、町政経営に臨む私の基
本的な考え方と令和2年度に講
じるべき主要施策などについて
申し上げます。

本町の高齢化率は44%を超え
ており、人口もさらに減少する
ことが想定されています。引き
続き、紀北町第2次総合計画の
将来像、「みんなが元気！紀北
町〜豊かな自然、にぎわいと笑
顔があふれるまち〜」の実現
に向け、紀北町の人、地域、産
業や各種団体、活動など全てが
元気となることを目指し、自然
と共生する「安全・安心な暮
らし」を基本とし、「にぎわい」
のある、「人・地域の元気」を
生み出すまちづくりを進めてま
いります。

時代に合わせた変化を重ね、
町民の負託にお応えできるよう
全力を尽くしてまいりますの
で、議員の皆さまをはじめ町民
の皆さまのなお一層のご支援ご
指導をお願い申し上げます。施
政方針といたします。



紀北町「空き家バンク」制度 のご紹介

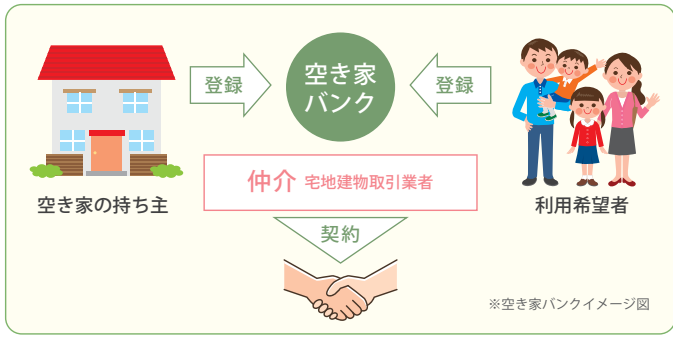


空き家バンク
関連補助金

補助率 2分の1以内
補助件数
6件程度（予算60万円の範囲内）
※着手前に申請が必要です。

「空き家バンク」制度は、町内にある空き家を所有者の方から登録してもらい、空き家の購入・賃借を希望する方に情報を提供する制度です。

空き家を売りたい・貸したいとお考えの方、町内でお住まいをお探しの方、ぜひ空き家バンクをご利用ください。



※空き家バンクイメージ図

空き家を売りたい・貸したい方

空き家を買いたい・借りたい方

◆空き家登録の流れ

- ①登録の申し込み
- ・空き家登録申請書
- ・空き家登録カード
- ・空き家バンク登録確認書

に必要な事項を記入し、本人確認ができる書類の写し（運転免許証など）を添えて本庁企画課へご提出ください。

②現地調査

町職員および担当の仲介業者（宅地建物取引業者）が現地確認を行います。

※不動産の権利関係が複雑な場合や、大規模な修繕が必要な場合など、状況によっては登録をお断りすることがあります。

③登録物件の公開

調査後、空き家バンク利用登録者や町ホームページへの掲載などで情報提供を行います。

交渉・契約
手続きについて

空き家情報の概要は、随時ホームページ上でお知らせしています。気になる物件があれば、利用登録をお願いします。

※交渉・内見・契約は利用登録を完了した方のみが行えます。

町は物件情報の紹介のみを行っており、交渉・契約については仲介業者を介して行います。成約の際には仲介手数料が発生します。



◆空き家登録促進補助金

『空き家はあるけど片づけや掃除がたいへん』こんな時は「空き家登録促進補助金」をご活用ください。

空き家の清掃や、残っている家財道具の搬出、敷地内の樹木を伐採する作業などを、町内の業者に委託して行う場合その費用の一部を補助します。

補助金額上限 25,000円/件

補助件数

6件程度（予算15万円の範囲内）
※着手前に申請が必要です。

◆空き家改修補助金

『空き家を契約したいけど、少しでもだけ修理したい』こんな時は「空き家改修補助金」をご活用ください。

空き家バンクを通じて売買または賃貸の契約を行った空き家の改修工事を、町内の建設業者の施工で行う方に工事費用の一部を補助します。

補助金額上限 10万円/件

◆空き家登録奨励金

『地域内に空き家がたくさんあるけど…』こんな時は「空き家登録奨励金」制度をご活用ください。

自治会から空き家所有者に空き家バンクへの登録を促してください。その空き家が成約した場合、自治会へ奨励金を支給します。

奨励金 20,000円/件



各制度の詳しい内容や申請条件については、お問い合わせください。

【問い合わせ・申し込み】

本庁企画課企画係
TEL(46) 3113



感染症予防の基本 まず『手洗い』



おでかけ応援サービス 『えがお』のご紹介

感染症の予防は、まず『手洗い』がたいせつです。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに手を洗いましょう。

正しい手の洗い方



石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

◆新型コロナウイルス感染症に ついでに相談窓口

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428

尾鷲保健所 尾鷲(23) 3428



友達と一緒に買い物に行くと、割り勘ができてお得に利用できます。

尾鷲病院からの帰りに路線バスを利用して、「えがお」で迎えにきてもらったので、スムーズに帰宅できました。

行きはいいかバスで出かけて、帰りに良い時間のバスがなかったので「えがお」を利用してすぐに送迎してもらいました。

尾鷲病院からの帰りに路線バスを利用して、「えがお」で迎えにきてもらったので、スムーズに帰宅できました。

友達と一緒に買い物に行くと、割り勘ができてお得に利用できます。

尾鷲病院からの帰りに路線バスを利用して、「えがお」で迎えにきてもらったので、スムーズに帰宅できました。

行きはいいかバスで出かけて、帰りに良い時間のバスがなかったので「えがお」を利用してすぐに送迎してもらいました。

友達と一緒に買い物に行くと、割り勘ができてお得に利用できます。

尾鷲病院からの帰りに路線バスを利用して、「えがお」で迎えにきてもらったので、スムーズに帰宅できました。

行きはいいかバスで出かけて、帰りに良い時間のバスがなかったので「えがお」を利用してすぐに送迎してもらいました。

紀北町に新しい交通が誕生！

おでかけ 応援サービス 『えがお』

初乗り 10分まで600円 以後 5分ごとに500円

配車センター 090-7673-3894 (受付時間 8:20 ~ 15:30)



税務課からのおしらせ

障がいを持つ方に 対する軽自動車税の 減免制度について

対象となる障がいの区分		本人運転	家族・介護者運転
視覚障がい		1～4級	
聴覚障がい		2・3級	
平衡機能障がい		3級	
音声・言語・そしゃく機能障がい		3級（喉頭摘出者に限る）	
上肢機能障がい		1・2級	
下肢機能障がい		1～6級	1～3級
運動機能 障がい	上肢機能	1・2級	
	移動機能	1～6級	1～3級
体幹機能障がい		1～5級	1～3級
心臓・腎臓・呼吸器・ぼうこう または直腸・小腸機能障がい		1・3級	
ヒト免疫不全ウイルスによる 免疫・肝機能障がい		1～3級	
療育手帳		—	A1、A2、A最重度、A重度
精神障害者保健福祉手帳		—	1級

4月1日現在で、身体障害者手帳などの交付を受けている方で次の条件に該当する場合は、申請により軽自動車税が、1台分に限り減免されます。

◆減免対象となる条件

※自動車税（普通自動車）など
県税の減免を受けている方は対象外
◆減免が受けられる範囲
軽自動車障がいを持つ方の名義であること
※18歳未満や、知的障がいなどにより所有者になれない場合は、各種手帳に記載された保護者の名義でも可

○本人が運転する軽自動車
○家族運転の場合は、次の条件を全て満たすこと
・生計を一にしている

・身体に障がいを持つ方の通院、通学、通所またはなりわいのために使用している
・月4回以上使用している
・おおむね6カ月以上にわたって継続的に使用している

○介護者運転の場合は、身体に障がいを持つ方のみで構成される世帯の方を常時介護する方が、身体に障がいを持つ方のために軽自動車を使用することが条件で、週3回以上かつ1年以上にわたって継続的に使用していること

◆申請時に持参するもの

- ① 減免申請書
 - ② 身体障害者手帳、戦傷病者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳など
 - ③ 認め印
 - ④ 運転免許証
 - ⑤ 車検証
 - ⑥ 個人番号カードまたは通知カード
 - ⑦ 使用目的の証明書（通院証明書など）
- ※本人運転の場合は、⑦の書類は不要



※前年度も減免を受けている方で、前年の状況と同じ場合には②④⑤⑦の書類は不要

◆申請期間

4月1日（水）～6月1日（月）
※土・日曜日、祝日を除く
午前8時30分～午後5時15分

固定資産税の 縦覧について

町内に土地、家屋を所有している納税義務者の方は、土地・家屋価格等縦覧帳簿で自己の所有している土地、家屋以外でも価格などの縦覧が可能です。

◆縦覧場所

本庁税務課

海山総合支所住民室



「平日は仕事があるので納付に行く時間がない」、「入院して納付に行けない」など、自主納付が困難な方は口座振替が便利です。手続きは簡単で、役場本庁、海山総合支所、町内金融機関窓口などで申請できますのでぜひご利用ください。

◆縦覧できる方
4月1日（水）～6月1日（月）
※土・日曜日、祝日を除く
午前8時30分～午後5時15分

◆縦覧できる方
町内に所在する土地家屋の固定資産税の納税者、その家族などの代理権（委任状などが必要）を有する方

※本人確認のできるもの（運転免許証など）をご持参ください。（代理人の場合、代理人本人を確認できるものと委任状が必要）

町税の納め忘れは ありませんか？

町税は、公共施設の整備や、社会保障・教育の充実、地域振興など、まちづくりの貴重な財源です。納期限までに納付されない場合は滞納となり、納期限内に納めた方との税の公平性を保つため、本来の税額に加えて督促手数料や延滞金を納付することになります。

口座振替のご利用を！

「平日は仕事があるので納付に行く時間がない」、「入院して納付に行けない」など、自主納付が困難な方は口座振替が便利です。手続きは簡単で、役場本庁、海山総合支所、町内金融機関窓口などで申請できますのでぜひご利用ください。

※通帳などの口座のわかるもの、届出印（銀行印）をご持参ください。

【問い合わせ】

本庁税務課課税係

TEL(46) 3118

海山総合支所住民室税務係

TEL(32) 3902



令和2年度「ちよい減らし+10チャレンジ」参加者募集!

町では、健康的な生活習慣を送るために「ちよい減らし+10」を推進しています。

これを実践するため、平成28年度から「ちよい減らし+10チャレンジ」を開催しています。

この取り組みは、自分に合った目標をコツコツ実践する取り組みが好評で、多くの反響をいただいています。

実施期間

4月1日(水)～

令和3年2月28日(日)

参加方法

①あらかじめ設定されている減塩の目標(しょうゆなどの調味料はかけずにつける)に加え、自分に合った効果的な食事と運動の目標を具体的に設定します。
※目標を立てにくい方は、パンフレットに記載されている「目標設定例」を参考にしてください。

②それぞれの目標が1項目以上達成できた日は、記録表に○をつけてください。

③○の数1つを1ポイントとし、記録表を提出していただくと、たまったポイント数に応じて記念品と交換できます(上限500ポイント)。
令和2年度チャレンジ達成記念品

記録表の配布場所

○本庁福祉保健課

○海山総合支所福祉環境室

※紀北町ホームページの「ちよい減らし+10チャレンジ」のページからダウンロードできます。

『ちよい減らし+10』とは?

生活習慣病の予防や健康の維持・増進のために、とりすぎている「塩分」、「糖分」、「カロリー」、「アルコール」などを少し減らし、いつもより10分多く体を動かすことをいいます。

『ちよい減らし+10チャレンジ』の取り組み事業所も募集します!

従業員などの健康の保持、増進への取り組みは、単に医療費の節減のみでなく、活力や生産性の向上につながると考えられます。

町内の銀行や学校、介護施設など63事業所が「ちよい減らし+10取り組み事業所」に登録し、職場でも健康にむけた取り組みを実践しています。

町内の事業所を含め、従業員5名以上の事業所で登録できます。詳しくはお問い合わせください。

令和2年度高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用について

定期接種

今までに肺炎球菌ワクチン

(23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン)を接種したことがない次の基準に該当する方は、令和2年度定期高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成の対象となります。

対象

○今年度65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方

○60歳以上65歳未満の方で心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がい有する方

実施期間

令和3年3月31日まで

自己負担金 3,000円

※生活保護の方は無料

持ち物 健康保険証

※対象の方には後日通知を発送します。

任意接種

対象

令和2年度の定期高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業の対象者が、これまでに定期接種された方、任意接種で助成をうけた方以外で今年度肺炎球菌ワクチンを接種された方

申請方法

本庁福祉保健課または海山総合支所福祉環境室へワクチン接種後、領収書と印鑑、通帳を持参し、申請手続きを行ってください。

※詳しくはお問い合わせください

【問い合わせ】

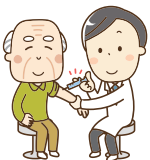
本庁福祉保健課地域保健係

TEL(46) 3122

海山総合支所福祉環境室

福祉保健係

TEL(32) 3904



6年生を送る会

— 2月21日 —

上里
小学校

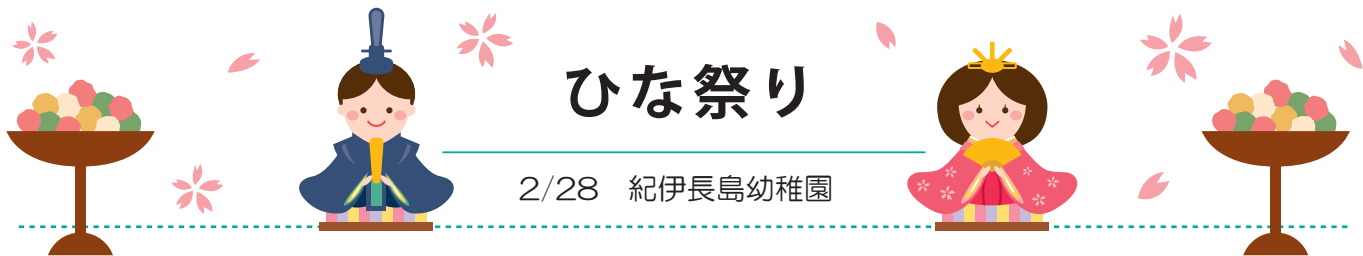


西
小学校



東
小学校





ひな祭り

2/28 紀伊長島幼稚園



総務課

紀北町会計年度
任用職員募集

職種および採用予定人員

造林技術補助員 1名

採用予定年月日

令和2年6月1日

応募資格および要件

○地方公務員法16条（欠格条項）に該当しない方

○普通自動車運転免許を所有（取得見込みも含む）し、心身ともに健全で明るく丁寧に対応できる方

○町内に居住または居住できる方

応募期間

4月13日（月）～30日（木）

午前8時30分～午後5時15分

※土・日曜日、祝日を除く

試験日時

5月11日（月）午前9時～

会場

紀北町役場 4階第1委員会室

試験内容

作文試験・面接

提出書類（各1通）

①申込書兼履歴書

②普通自動車運転免許証の写し

※①の様式は本庁総務課および
海山総合支所総務室で交付しま
す。

業務内容、勤務場所など詳し
くはお問い合わせください。

【問い合わせ・書類提出先】

本庁総務課職員係

TEL(46) 31111



住民課

船津出張所
移転のお知らせ

令和2年3月30日（月）から、

船津出張所は中里集会所施設内

へ移転しました。

紀北町中里138番地4

TEL(35) 0004

【問い合わせ】

本庁住民課住民係

TEL(46) 31117

海山総合支所住民室住民係

TEL(32) 3902

生涯学習課

第13回美し国三重市町対抗
駅伝『町の部』4位入賞！

2月16日（日）に「第13回美
し国三重市町対抗駅伝」が開催
され、紀北町チームは選手一人
一人が力を出し切り、見事町の
部4位に入賞しました。

町の部 4位（総合14位）

タイム 2時間30分42秒

町民の皆さまの温かいご声援、
ありがとうございました。

◆紀北町代表選手（敬称略）

中村 麻央莉・前田ももな・仲村

隆生・山口弘太郎・加藤乃莉・

石倉明奈・山下礼・三浦颯斗・

沼崎照之・濱田元生・九嶋大雅・

東海斗・上村紗梨・井谷芭菜・

上野智賀・藤井有希・東香菜子・

野中有優・山口祥太・野間宏哉・

森本次郎（監督）・垣内元宏（コー

チ）



令和元年度電源立地
地域対策交付金事業
（水力発電施設枠）実績報告

事業名

図書館情報システム更新事業

総事業費

4,807,000円

うち交付金

3,526,000円

事業内容

紀北町図書室（3室）の図書管

理システム（貸出返却や検索な

ど）の更新

事業完了日 2月6日



検索システム

【問い合わせ】

教育委員会本庁生涯学習課

社会教育係／スポーツ振興係

TEL(46) 3125

海山総合支所教育室教育係

TEL(32) 3905

企画課

地域づくり

活動支援補助金

地域を自らの力でより良くしていこうという思いを持った住民の方々と団体による身近な地域の活性化や課題の解決に向けた自主的・主体的な取り組みに対して必要経費の一部を補助します。

補助金額 上限10万円/件

補助件数

5件程度(予算50万円の範囲内)

募集期限 4月24日(金)

※申請後、審査を行います。

「友好都市」四條畷市民との交流支援

紀北町民と四條畷市民の交流を促進し、親睦を深めるため、スポーツや文化活動を通しての交流事業に対して必要経費の一部を補助します。

補助金額 上限20万円/団体

補助件数

1件程度(予算20万円の範囲内)

【問い合わせ・申し込み】

本庁企画課企画係

TEL(46) 3113

建設課

町営住宅入居希望者募集

募集団地・間取り・家賃(月額)

志子第2団地(島原)

304号室(3階) 2LDK

22,600円/

33,700円

入居予定日

6月12日(金)

応募期間

4月1日(水)~14日(火)

※応募者が募集戸数に満たない場合は、随時募集とします。

応募基準

①令和2年3月31日時点で、紀北町内に住所または勤務場所を有する方

②同居している親族、または同居しようとする親族がある方

※特に居住の安定を図る必要がある方は単身入居可能

③基準収入月額158,000円以下(裁量階層に該当する場合214,000円以下)



④町(市・村)税・国民健康保険料(税)・水道料を滞納していない方および持ち家がない方

⑤入居申込者(同居者含む)が暴力団員であるときは申し込みできません。

※申し込み多数のときは選考になります。

※詳しくはお問い合わせください。

い。

道路・河川・公園などの美化ボランティア募集

建設課では、町が管理している道路・河川・公園などの美化を目的とする草刈りや清掃など地域の皆さんのボランティア活動に支援を行います。

◆対象となる活動および団体

自治会など地域の皆さまにより構成された団体が建設課管理の道路(町道)・河川・公園などにおいて自主的に行う草刈り、清掃などの活動

支援内容

ボランティア活動に対して、作業に必要な物品の提供をします。

支援物資

○消耗品(ごみ袋、軍手、ホウキ、鎌、草刈機の刃、洗剤、ぞうきん、

バケツなど)

○その他作業などに必要な物品として町長が認めたもの

※大きな作業(修繕、伐採など)は町が対応します。

募集期間

4月1日(水)~6月30日(火)

申し込み方法

本庁建設課および海山総合支所産業建設室にて配布の申請書に必要事項を記入のうえ、お申し込みください。

【問い合わせ・申し込み】

本庁建設課管理係

TEL(46) 3120

海山総合支所産業建設室土木係

TEL(32) 3903



三重県保険医協会

からだと歯のこと

何でも電話相談(無料)

日頃から気になっている「からだ」と歯に関する悩み」に医師・歯科医師が回答します。相談は無料ですので、お気軽にお電話ください。

※時間帯によっては電話がつながりにくい場合があります。

※当日の相談担当医師の専門領域により、対応できる相談に制限があります。

日時 4月19日(日)

午前10時~午後3時

【問い合わせ】

三重県保険医協会

TEL059(225) 1071

TEL059(225) 8747

三重県計量検定所

「はかり」の検査を忘れずに!

取引や証明用に使用する「はかり」は、2年に1度の検査が必要で、必ず検査を受けましょう。

検査手数料

種類や能力により異なります。

※支払いは現金のみ。

検査対象となる計量器

①商店・露店などの商品売買取

②病院・薬局などの調剤用

③病院・学校・福祉施設などの体重測定用

④生産者の生産物販売・出荷用

⑤工場・事業所などの材料購入・製品販売用

⑥農協・漁協などの物資集荷・出荷用

⑦運送・宅配業などの貨物運賃算出用

検査日・時間・場所

○4月15日(水)

午前10時30分～午後2時30分

自然休養村管理センター

○4月16日(木)

午前10時30分～11時30分

若者センター

午後1時～3時

東長島公民館

○4月17日(金)

午前10時30分～午後3時

長島多目的会館

○4月20日(月)

午前10時30分～11時30分

島勝漁村センター

午後1時～3時

三重外湾漁業協同組合紀州支所

(引本浦)

○4月21日(火)

午前10時30分～11時30分

船津集会所

午後1時～3時

紀北教育会館

○4月22日(水)～24日(金)

午前10時30分～

電気式はかり所在場所

【問い合わせ】
三重県計量検定所

TEL 059(223)5071

本庁商工観光課商工係

TEL(46)3115

危機管理課

春の全国交通安全運動

実施期間

4月6日(月)～15日(水)

運動の重点

①子どもをはじめとする歩行者の安全の確保

②高齢運転者等の安全運転の励行

③自転車の安全利用の推進

【問い合わせ】

本庁危機管理課

防犯・交通安全対策係

TEL(46)3114

海山総合支所総務室

総務・防災対策係

TEL(32)3901



紀北広域連合

令和2年度の介護保険料(65歳以上)のおしらせ

一部の65歳以上の方には4月中旬に介護保険料額決定通知書と納付書が郵送されます。

納付書が届いた方は納期限までに忘れずにお支払いください。(口座振替をご依頼された方には介護保険料額決定通知書のみ郵送されます。)

次のいずれかの方法により保険料を納めていただきます。

◆普通徴収

納め方 口座振替や納付書で金融機関、各役場(所)、紀北広域連合で納付

対象

老齢・退職年金、障害年金および遺族年金が年額で18万円未満の方

◆特別徴収

納め方 年金から天引き
対象 老齢・退職年金、障害年金および遺族年金が年額で18万円以上の方

次の条件にあてはまる方は普通徴収となります。

○令和2年度の途中で65歳にな

なった方

○令和2年度の途中でほかの市町村から転入した方

○令和2年度の途中で所得段階が変わった方

○年金の現況届の提出が遅れた方

○年金を担保にお金を借りている方

(普通徴収の方のみ、4月中旬に介護保険料額決定通知書を郵送します。)

◆保険料はたいせつな財源です

介護保険は介護保険料と公費を財源に運営しています。

財源が不足しますと必要なサービスが十分にそろえられなくなることもあります。

誰もが安心してサービスを利用できるように介護保険料は必ず納めましょう。



【問い合わせ】

紀北広域連合

介護保険給付・保険係

TEL(35)0888

福祉保健課より
お詫びと訂正

3月号で掲載の地域子育て支援センターぞうさん(かとう小児科敷地内)について、誤りがありましたのでお詫び申し上げます。次の通り訂正いたします。

○育児相談・保健相談 誤 保健師

↓ 正 保育士

○ぞうさんニュース 誤 年1回

↓ 正 月1回

おしらせ

新型コロナウイルス感染症の影響により、町内でも各種イベントや会議など延期や中止になっています。

イベントや会議に参加される予定のある方は主催者もしくは関係者にご確認の上お出かけください。

📖 海山図書室から

「雲を紡ぐ」



伊吹有喜

「図書名」/著者名

- 「発注いただきました！」
/朝井リョウ
- 「去年の雪」/江國香織
- 「グランドシャトー」/高殿円
- 「抵抗都市」/佐々木譲
- 「八月のひかり」/中島信子
- 「グッドバイ」/朝井まかて
- 「掃除婦のための手引き書 ルシア・ベルリン作品集」
/ルシア・ベルリン
- 「ヤービの深い秋」/梨木香歩
- 「理由がわかればもっとおいしい！ コーヒーを楽しむ教科書」
/井崎英典
- 「中学生からの勉強のやり方」
/清水章弘
- 「改訂3版 これからはじめるプログラミング 基礎の基礎」
/谷尻かおり

★4月10日(金)から、除籍図書の無料配布を行います。古くなった一部の雑誌や小説、文庫本などを自由にお持ち帰りいただけます。お気軽にご活用ください。※なくなり次第終了

📖 児童図書室から

「きょうも うれしい」



えがしらみちこ

「図書名」/著者名

- 「はるとあき」/斉藤倫 うきまる
- 「さくらがさくと」
/とうごうなりさ
- 「ふしぎパティシエールみるか(5) びっくり!ほしぞらスイーツ」
/斉藤洋
- 「ゴミの島のサバイバル」
/ゴムドリ co.
- 「学校では教えてくれない大切なこと(28)日本のことー伝統・文化・風習ー」/旺文社

★4月23日(木)～5月12日(火)は「こどもの読書週間」です。期間中、本のお楽しみ袋の貸し出しを行います。
☆4月は桜、友だちをテーマにした展示を行います。

「よみきかせの会」
(児童図書室)

今月のよみきかせの会はおやすみです。

📖 紀伊長島図書室から

「よその島」



井上荒野

「図書名」/著者名

- 一般図書
- 「クスノキの番人」/東野圭吾
- 「夜がどれほど暗くても」
/中山七里
- 「ボクはやっと認知症のことがわかった 自らも認知症になった専門医が、日本人に伝えたい遺言」
/長谷川和夫 猪熊律子
- 「ますます心とカラダを整えるおとなのための1分音読」
/山口諤司
- 「はじめてでもすてきに作れるバッグのきほん」/猪俣友紀
- 児童図書
- 「若草物語 I & II」
/ルイザ・メイ・オルコット
- 「らくごえほん ごんべえだぬき」
/川端誠
- 「四つ子ぐらし(5)(上・下)」
/ひのひまり
- 「はじめてのくるまざかん」
/スタジオタッククリエイティブ
- 「アンパンマンとカレンのもり」
/やなせたかし



● 海山図書室および児童図書室

【開室時間】午前9時～午後5時 ※正午～午後1時閉室
【休室日】月曜日、祝日、年末年始(12月29日～翌年1月3日)

● 紀伊長島図書室

【開室時間】火～金曜日/午前9時～午後6時
土・日曜日/午前9時～午後5時 ※正午～午後1時閉室
【休室日】月曜日、祝日、年末年始(12月29日～翌年1月3日)

※返却期間を過ぎている本をお持ちの方は、返却をお願いします。

【問い合わせ】 海山図書室 Tel.32-3915 児童図書室 Tel.33-0025 紀伊長島図書室 Tel.47-3906

検(健)診などのお知らせ

事業名	日時	場所	申し込み	備考
幼児健診 [※]	4月9日(木)	東長島公民館	—	対象者には通知を郵送します。 忘れず受診してください。 
すくすく子育て相談	4月15日(水) 午前10時～11時	海山総合支所別館2階 けんこうの広場	—	子育てに関する各種相談、身体計測 持ち物：母子健康手帳

※1歳6カ月児健診、2歳6カ月児歯科健診、3歳6カ月児健診は、幼児健診として同日に実施します。

「紀北町健康歩こう会」令和2年度予定

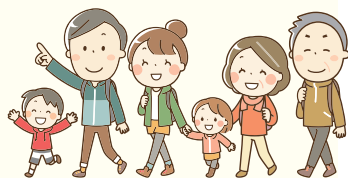
令和2年度「紀北町健康歩こう会」を開催いたします。さまざまな場所で開催していますのでお気軽にご参加ください。ご予約・詳細はお問い合わせください。

【日程・場所】

- 4月7日(火) 花さじき
- 5月13日(水) 杉原千畝記念館
- 6月2日(火) 加茂荘花鳥園
- 7月15日(水) 石上神宮、大神神社、榎原神宮
- 10月30日(金) 天川村
- 11月27日(金) 香嵐渓
- 2月26日(金)、27日(土) 伊豆下田(1泊2日)
- 3月30日(火) 岐阜城

【問い合わせ・申し込み】

世話人代表 津本守久
Tel 47-1582



令和2年度から「幼児健診」の実施方法が変わります



町が実施しております「1歳6カ月児健診・2歳6カ月児歯科健診・3歳6カ月児健診」を、令和2年度から同日に実施することになりました。

日程および会場は次のとおりです。対象者には健診日の約3週間前に通知を郵送しますので忘れず受診をお願いします。

【令和2年度 幼児健診日程表】

日程	会場
4月9日(木)	東長島公民館
6月11日(木)	けんこうの広場
8月27日(木)	東長島公民館
10月8日(木)	けんこうの広場
12月10日(木)	東長島公民館
令和3年2月18日(木)	けんこうの広場

紀北医師会休日診療当番表

受診希望の方は、事前に電話でご連絡ください。

診療時間 午前9時～午後5時

※日程や時間は変更がある場合がありますのでご注意ください。

【紀北医師会ホームページ】

<http://kihoku-med.or.jp/>

◆ 救急医療情報システム Tel 059-229-1199

月日	曜日	紀北	電話
4/5	日	かとう小児科	47-3341
4/19	日		
5/5	火		

※上記以外は、尾鷲総合病院で対応します。

けんこうの広場に関する問い合わせ、申し込みは本庁福祉保健課地域保健係(Tel 46-3122)または海山総合支所福祉環境室福祉保健係(Tel 32-3904)までお願いします。

戸籍の窓

【令和2年2月1日～29日受付分】

(敬称略)

本人または、親族の方の了承を得て掲載しています。

東長島	長島	住所氏名	ご冥福を祈ります	中里	長島	住所子の名前	お誕生おめでとう
石田	西原	まさ		鈴木	脇	淳蘭	
圓				星花	愛美		
(82歳)	(97歳)	(年齢)		凛	康仁	保護者	

長島	長島	長島	東長島	長島	長島	東長島	長島	東長島	東長島	長島
樋口	大西	西村	濱口	東	池田	東	東	古畑	久保	垣内
伸太郎	みや	豊	昌三	しな	昇	幸生	求	進市	索	街子
(74歳)	(102歳)	(80歳)	(102歳)	(86歳)	(93歳)	(91歳)	(55歳)	(93歳)	(89歳)	(85歳)

引本浦	相賀	引本浦	引本浦	相賀	上里	矢口浦	引本浦	相賀	島原	長島	島原
森下	渡邊	岸	森下	濱口	小林	塩谷	大谷	朴	倉本	東	倉崎
要	由井子	さち子	叔子	由平	き	咲枝	極	達圭	恭一	喜江	寛
(93歳)	(80歳)	(93歳)	(79歳)	(87歳)	(89歳)	(90歳)	(87歳)	(83歳)	(80歳)	(90歳)	(84歳)

引本浦	相賀	矢口浦	引本浦	相賀	東長島	長島
森下	浜田	塩谷	大谷	伊藤	久保	上野
昭弘	忠雄	光久	尚也	光洋	孝夫	正典
一万円	二万円	三万円	二万円	二万円	三万円	二万円



善意をありがとう
 〓紀北町社会福祉協議会へ〓
 【令和2年2月1日～29日受付分】
 (敬称略)

無料法律相談 (予約制)

弁護士による無料法律相談を次のとおり2会場にて開催します。困り事、争い事の法的なご相談をお受けします。秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

日程	時間	場所
4月 15日(水)	午前10時30分～正午	社会福祉会館 1階
	午後1時～2時	
	午後3時～5時30分	老人福祉センター 2階

※相談時間は1名30分以内で、定員は各場所5名です。相談を希望される方は、前日までにご予約をお願いします。

※同一内容での相談は原則1回限りです。

※キャンセルされる場合は前日までにご連絡ください。

※紀北町を訴訟相手とする場合、相談内容が訴訟中で、現在裁判所で審理中の場合、当事者間に係争がある場合の双方同時の相談は原則として利用できません。

【問い合わせ・申し込み】

本庁住民課住民係 Tel46-3117

普通救命講習

心肺蘇生法とAEDの取り扱いを習って、もしものときに備えましょう。

日時 4月9日(木) 午後1時～4時

場所 紀伊長島消防署

※申し込みは前日までにお願いします。

【問い合わせ・申し込み】

紀伊長島消防署 Tel47-0001

こころの健康相談

日時・場所 ご相談に応じます。

対象 こころの健康に関する悩みを持つ方や、ご家族

【問い合わせ・申し込み】

本庁福祉保健課地域保健係 Tel46-3122



広報

きほく

2020.4
No.174

(令和2年3月1日現在)※外国人を含む
■人口：15,627人 ■世帯数：8,067世帯
■男：7,365人 ■女：8,262人

編集・発行 紀北町企画課
〒519-3292 三重県北牟婁郡紀北町東長島769番地1
(直通) TEL 0597 (46) 3113 (直通) FAX 0597 (47) 5908
https://www.town.mie-kihoku.lg.jp/ E-mail kikaku@town.mie-kihoku.lg.jp



満1歳笑顔

にじいろスマイル

「にじいろスマイル」のコーナーに掲載希望の方は、誕生月の前月の10日までに
本庁企画課広報係または、海山総合支所総務室までお申し込みください。

🍰 平成31年4月2日生まれ



こはる
入田 小春ちゃん

お姉ちゃんがだいすきな、ニコニコわんぱく小春ちゃん1歳おめでとう！

<東長島>尚敏・莉央さん

🍰 平成31年4月30日生まれ



りと
東 璃空くん

これからも元気に大きくなってね☺
1歳の誕生日おめでとう♡

<長島>大殊・比那さん



広報きほく 4月号 CONTENTS

- | | |
|---|----------------------------|
| P02 令和2年度施政方針 | P16 Kihoku Playback |
| P12 紀北町「空き家バンク」制度のご紹介 | P18 暮らしの情報 |
| P13 感染症予防の基本 まず『手洗い』
おでかけ応援サービス「えがお」のご紹介 | P21 図書室だより |
| p14 税務課からのおしらせ | P22 けんこうの広場 |
| P15 令和2年度「ちょい減らし+10」参加者募集！
令和2年度高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用について | P23 戸籍の窓 |
| | P24 にじいろスマイル |